

## R6 読取試験

ビデオを2回見て筆記にて回答。(2回とも下書き可)  
10分間で清書し、清書のみ提出。

### ①テーマ：「新しいコミュニケーション」

私は先日みるカフェに行きました。

それは2025年デフリンピックが開催されますので、東京都主催でデフリンピックをPRするために期間限定でオープンしたカフェです。

そのカフェは渋谷区にあり、11月15日から26日の期間限定でオープンされました。

カフェのスタッフは20人ほどいます。半分の10人がろう者です。

そこではろう者・聴者関係なくコミュニケーションできるいろいろな技術や機器が紹介されていました。

ろう者と聴者のコミュニケーション方法は大きな透明ディスプレイを使います。

聴者がマイクを通して話した言葉が文字でディスプレイに表示され、それを見たろう者がキーボードに文字を打ち込む、そうやって聴者とろう者お互いに会話を進めていくことができます。

目の前で、LINEでやりとりをしているかのようで感心しました。

このように聴者・ろう者関係なくコミュニケーションできる新しい技術が広まっていくと良いと思いました。

## R6 読取試験

### ②テーマ：「発音訓練」

私は杉並ろう学校の幼稚部に通いました。そこでは手話が禁止されていて、発音訓練を受けました。

発音訓練の内容を話します。

「あいうえお」の発音が難しく、先生が私の喉に手をあてて発音を繰り返していくうちにコツをつかみ、「あいうえお」の発音ができました。

次に「かきくけこ」の発音ですが、難しくてなかなかできませんでした。

そこで先生はコップに水を入れ、その水を口に含みうがいをするように「かきくけこ」を発音しました。

私は先生の喉元に手を当ててその振動を確認しましたが、よくわかりませんでしたので、自分の喉元に手を当てて私もおなじようにやってみました。

すると、先生にそうだよと言われ、それを繰り返してやっとコツをつかみ、「かきくけこ」の発音ができるようになりました。

一番大変だったのは口型が似ている言葉です。

例えば卵（タマゴ）とタバコ。以前は手話を禁止されていたので、私は一生懸命口型を読み取ります。

しかし、その似ている言葉（口型）が読み取れず、分かったふりをします。

すると机に（指で）書いてみなさいと先生に言われました。しぶしぶ書いてみると間違えたときがあり、頬を打たれて立たされました。

そういうことを経験しました。正解するとやっと座れるという、そういう厳しい国語の先生でした。

思い出です。私の希望は聴者とろう者関係なく仲良く歩んでいきたいと思います。以上です。